

# 千葉県 産科婦人科医会報

(第65号 平成19年7月)

千葉県産科婦人科医会

日本産婦人科医会

日本産科婦人科学会

千葉県支部

千葉地方部会

# CONTENTS

## <巻頭言>

就任のご挨拶

支部長 十河正寛 ..... 1

就任のご挨拶

地方部会長 吉田幸洋 ..... 2

## <トピックス>

今期の支部役員名簿

..... 3

今期の地方部会役員名簿

..... 4

今期の地区代表委員名簿

..... 5

今期の代議員名簿

..... 6

## <代議員会・総会報告>

平成18年度事業報告（全体）

..... 7

平成18年度事業報告（事業部）

..... 9

積立金中期移動報告

..... 11

平成18年度収支決算（本部・収支）

..... 12

平成18年度収支決算（支部・収支）

..... 13

監査報告

..... 15

平成19年度事業計画（事業部）

..... 16

平成19年度収支予算（本部・収支）

..... 19

平成19年度収支予算（支部・収支）

..... 20

## <医会活動から>

平成18年度学術研修会実施一覧

..... 22

## <学術の窓>

平成18年度冬期学術講演会を主催して

日本医科大学千葉北総病院女性診療科 鴨井青龍 ..... 24

「今、千葉県のお産を考える —— 安心して生むことのできる千葉県に」

学術担当理事 梁善光 ..... 25

## <県内病院紹介>

松戸市立病院

松戸市立病院 産婦人科 産婦人科部長 伊澤美彦 ..... 27

## <役員会等報告>

平成18年度第3回定例役員会議事録

..... 28

平成18年度第4回定例役員会議事録

..... 30

平成18年度第5回定例役員会議事録

..... 32

平成18年度第3回合同協議会議事録

..... 34

## <お知らせ>

「日本産科婦人科学会千葉地方部会雑誌」発刊のお知らせ

..... 35

## <事務局だより>

会員の入退会・異動情報

..... 38

## <編集後記>

..... 40

# 就任のご挨拶

支部長 十河 正寛

このたび、2月の総会でご推薦を受け、日本産婦人科医会千葉県支部の支部長を務めさせていただきました。支部長会、関プロ役員会、日産婦医会総会などの会議への出席の機会も多くなり、月日が経つにつれ、その重圧が重く肩にのしかかってきており、かなりの重責をひしひしと感じております。昨年度までの社保担当理事としての四期にわたる経験を生かして、事業計画に沿って諸問題に取り組んで行きます。また、今年は、関プロ社保協議会を11月4日に千葉県支部の担当で開催することになっておりますので、よろしくお願ひいたします。

言い古されたことではありますが、日産婦医会千葉県支部と日産婦学会千葉地方部会は「車の両輪の如く鳥の比翼の如くあるべし」ということを再認識して、両会を一つの組織として認識し、一体として運営を図って行きたいと現在は考えております。そのためには、日産婦医会千葉県支部と日産婦学会千葉地方部会の両会の役員・地区代表・代議員の先生方との充分な意見の交換と協力を、従来にも増して会員の皆様のご意見を伺い、千葉県産科婦人科医会の運営に反映させていきたいと思います。

さて、昨今は産科医療の現状についていろいろ話題になっております。①いわゆる看護師の内診について ②特に一次の分娩施設での助産師確保の問題 ③産科医師の高齢化や周産期医療に携わる産婦人科医の激減 ④医療訴訟の増加の問題 ⑤(周産期医療の現場ではフルタイムの勤務には困難が伴うといわれている)女性医師の増加など、いろいろと厳しい環境にあります。ここ何年かは解決されるどころか次々といろいろな問題が生じてきています。二次・三次の周産期医療を行うセンター的な施設での視点からだけではなく、一次の周産期医療を受け持つ有床診療所レベルの開業医の目からも見て、現実を見極めていかなければならないと思います。しかし、支部独自で解決できる問題ではありませんが、特に保助看法の絡む看護師の分娩の補助の問題は、現実に分娩を取り扱っている施設では死活問題です。3月30日の医政局長の通達、4月20日の厚労省と分娩関係団体(日産婦医会、日本医師会、看護協会、助産師会)との会談により「保助看法」問題に絡むこの問題は、医師の監督下での分娩の補助と考えて計測を行うという形で、医会から出された「ガイドライン」に沿っての現実的な解決をみたと思われます。会員の先生方には、5月の定時総会の時に、「ガイドライン」をお配りして、医政局長の通達などの詳細を、日産婦医会常務理事でもある神谷千葉県支部理事が伝達講習を行いました。また、6月21日の地方部会・支部合同研修会でも日本産婦人科医会の木下副会長(日医の常任理事でも在られます)にお出でいただき、その内容を詳細に伝えていただきました。

この問題は、「お産難民」という言葉を生み、その言葉が示すように分娩をする側(妊婦さん)にも影響を及ぼすので、お産をする妊婦さんをはじめその家族の皆様方にもその点を充分に納得していただき、看護師さんたちが安心して、安全な分娩の補助が出来るよう、対外的な広報活動も積極的に行っていかなくてならないと考えます。マスコミに訴えるときには、まずこちらに目を向けさせるような、目を引くキャッチフレーズが必要のようです。

今後、新たな事態に適切に対応し、小さなことから解決を図っていけば、大きなことを為すことが出来るという「積小為大」をモットーとして務めていきます。(5月連休の香港旅行でバスの車窓から、同じようなことと思われる「積少成多」と書かれた看板を見ました。)前支部長の八田先生の方針を踏襲しながら、一つの組織としてまとまっていく為にも、会員の諸先生のご協力を重ねてお願いし、医会の運営には、全力投球あたり、その責務を果たすべくガンバリたいと思います。

## 就任のご挨拶

地方部会長 吉田 幸洋

河村 堯前地方部会長のあとを引き継ぎ、本年度から伝統ある日本産科婦人科学会千葉地方部会会長を拝命し、その重責に身の引き締まる思いでございます。

さて、産婦人科医療なかんずく周産期医療が極めて厳しい状況にあるということは、国民にも広く知られるところとなり、医療者に厳しい新聞等マスコミも昨今では、産婦人科医を擁護するような論調さえ見受けられるようになりました。地方都市においてはじまつた周産期医療崩壊の危機は首都圏においても決して他人事ではなく、わが千葉県においても早急な対策が望まれるところです。幸い、昨年末には東京女子医科大学八千代医療センター（TYMC）が開設され診療を開始しました。特にTYMCには千葉県として2番目となる総合周産期母子医療センターとしての機能を担つていただくことになっておりますので、東葛南部地区に新たに周産期医療の拠点病院が生まれたことになり、大いに期待したいと思います。

千葉県における周産期医療提供上の現状と問題点につきましては、本年3月3日に開催されました「女性の健康週間」市民公開講座におきまして活発な討論がなされました。県内都市部には都市部の、また郡部には郡部の問題点があり、首都圏の東部に位置する千葉県のかかえる地勢的な問題点が改めて浮き彫りにされました。

今日のこの周産期医療の抱える問題は、もともとわが国の分娩取扱い施設の大部分が小規模施設であるという構造的なものと考えられますが、根本的な原因は産科医師不足であり、特に、看護師内診問題や医療への検察の介入などに端を発した厭世観とでもいうべき感情に少なからぬ数の産科医が陥ったことが現役産科医の士気に大きく影響していることは間違ひありません。

このような現状を打破すべく我々は今何をすべきでしょうか。幸い、日本産科婦人科学会は産婦人科医療提供体制委員会が示したグランドデザインを実現すべく、アクションプランを示しています（[http://www.jsog.or.jp/news/pdf/actionplan\\_H19\\_06\\_16.pdf](http://www.jsog.or.jp/news/pdf/actionplan_H19_06_16.pdf)）。

これに基づいて、現場の産婦人科医個々が今できることからはじめるのが良いと思います。すなわち、医育機関をはじめ研修指導施設に勤務する医師は、ぜひ医学生や研修医に産婦人科学の魅力・未来をアピールし、ひとりでも多く産婦人科医を目指す若者の確保に努めて下さい。また、一次医療施設の医師には、日常の産婦人科医療を正しく安全に実施していただき、一般の方々に産婦人科医療への理解を促進すべく情報提供と啓発に努めて頂きたいと思います。もちろん地方部会としましては、県単位とはなりますが行政に積極的に働きかけ、地域産婦人科センターの育成のために、地域の基幹病院の体力強化のための補助や母体搬送システム構築に対する協力などを要請したいと考えております。

問題は山積しておりますが、十河正寛日本産科婦人科医会千葉県支部支部長と協力し、千葉県の産婦人科医療にとって必要なことはなにかということを常に考え、より良い方向に進めるべく微力ながら努力する所存でございますので、何卒宜しくお願ひいたします。

# 日本産婦人科医会千葉県支部役員名簿

(任期: 平成19年4月1日~平成21年3月31日)

役職名	氏名	〒	住所・医療機関名	TEL・FAX	主担当	副担当	担当 副支部長
支部長	十河 正寛	273-0124	鎌ヶ谷市中央1-19-12 十河産婦人科医院	047-445-0187 047-445-9283			
副支部長	諫訪部 博	262-0032	千葉市花見川区幕張町6-97-6 諫訪部産婦人科	043-273-4680 043-274-0381	経理		
副支部長	河村 堯	270-1613	印旛郡印旛村鎌苅1715 日本医科大学付属千葉北総病院	0476-99-1111 0476-99-1868			
理事	大川 玲子	260-0042	千葉市中央区椿森4-1-2 国立病院機構千葉医療センター	043-251-5311 043-255-1675	女性保健	経理	諫訪部
理事	佐野 慎一	279-0001	浦安市当代島1-3-22 佐野産婦人科医院	047-352-5705 047-352-5776	医事紛争・ 医療安全	献金	諫訪部
理事	河西十九三	261-0002	千葉市美浜区新港32-14 ちば県民保健予防財団	043-246-0350 043-246-8640	総務	がん対策	諫訪部
理事	窪谷 健	277-0023	柏市中央2-2-12 窪谷産婦人科	04-7164-2230 04-7167-8334	社会保険	医療対策	河村
理事	水谷 敏郎	288-0031	銚子市前宿町597 銚子市立総合病院	0479-22-8010 0479-22-9381	研修	母子保健	河村
理事	佐々木 寛	277-0004	柏市柏下163-1 東京慈恵会医科大学柏病院	04-7164-1111 04-7163-3488	がん対策	勤務医	河村
理事	鈴木 康伸	274-8588	船橋市金杉1-21-1 船橋市立医療センター	047-438-3321 047-439-0737	勤務医	広報	河村
理事	木下 俊彦	285-0841	佐倉市下志津564-1 東邦大学医療センター佐倉病院	043-462-8811 043-462-8820	学術	女性保健	河村
理事	高松 潔	272-8513	市川市菅野5-11-13 東京歯科大学市川総合病院	047-322-0151 047-325-4456	広報	学術・研修	河村
理事	鈴木 真	296-8602	鴨川市東町929 亀田総合病院	0470-92-2211 04-7099-1198	母子保健	医事紛争・ 医療安全	諫訪部
理事	大川 浩司	271-0051	松戸市馬橋1902 大川病院	047-341-3011 047-345-0515	献金	経理	諫訪部
理事	神谷 直樹	277-8567	柏市柏2-2-4 柏クリニック	04-7164-1111 04-7166-9374	中央情勢	総務	諫訪部
理事	金田 幸枝	273-0025	船橋市印内町638-1 さちレディースクリニック	047-495-2050 047-495-2051	医療対策	社会保険	河村
監事	林 晴男	292-0831	木更津市富士見2-7-1 薬丸病院	0438-25-0381 0438-25-0399			
監事	井橋 力	289-2144	匝瑳市八日市場イ2496 井橋医院	0479-72-0144 0479-72-0395			
議長	千本 英世	274-0805	船橋市二和東5-57-5 千本産婦人科	047-449-2955 047-449-2592			
副議長	吉岡 英征	272-0021	市川市八幡5-7-22 吉岡産婦人科医院	047-334-4760 047-334-6751			
顧問	吉田 之好	270-2267	松戸市常盤平2-5 吉田医院	047-387-5438 047-389-3556			
顧問	八田 賢明	270-2267	松戸市牧の原2-92 ジュノ・ヴェスタクリニック八田	047-385-3281 047-389-4728			

◆ トピックス ◆

**日本産科婦人科学会千葉地方部会役員名簿**

(任期: 平成19年4月1日~平成21年3月31日)

役職名	氏名	〒	住所・医療機関名	TEL・FAX	主担当	副担当
会長	吉田 幸洋	279-0021	浦安市富岡2-1-1 順天堂大学浦安病院	047-353-3111 047-306-5025		
副会長	生水真紀夫	260-8670	千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学医学部 産婦人科	043-226-2121 043-226-2122	学会のあり方委員会	
理事	諫訪部 博	262-0032	千葉市花見川区幕張町6-97-6 諫訪部産婦人科	043-273-4680 043-274-0381		総務 経理
理事	河村 営	270-1613	印旛郡印旛村鎌苅1715 日本医科大学付属千葉北総病院	0476-99-1111 0476-99-1868		総務 学術
理事	大川 玲子	260-0042	千葉市中央区椿森4-1-2 国立病院機構千葉医療センター	043-251-5311 043-255-1675	女性の継続的就労支援に関する委員会	
理事	佐野 慎一	279-0001	浦安市当代島1-3-22 佐野産婦人科医院	047-352-5705 047-352-5776		総務
理事	河西十九三	261-0002	千葉市美浜区新港32-14 ちば県民保健予防財団	043-246-0350 043-246-8640		経理
理事	鴨井 青龍	270-1613	印旛郡印旛村鎌苅1715 日本医科大学付属千葉北総病院	0476-99-1111 0476-99-1905	広報	
理事	梁 善光	299-0111	市原市姉崎3426-3 帝京大学ちば総合医療センター	0436-62-1211 0436-60-1381	学術	
理事	窪谷 健	277-0023	柏市中央2-2-12 窪谷産婦人科	04-7164-2230 04-7167-8334		経理
理事	清水 幸子	296-0041	鴨川市東町929 龟田総合病院	04-7092-2211 04-7099-1198	周産期委員会	
理事	佐々木 寛	277-0004	柏市柏下163-1 東京慈恵会医科大学柏病院	04-7164-1111 04-7163-3488	経理	
理事	鈴木 康伸	274-8588	船橋市金杉1-21-1 船橋市立医療センター	047-438-3321 047-439-0737		学術
理事	木下 俊彦	285-0841	佐倉市下志津564-1 東邦大学医療センター佐倉病院	043-462-8811 043-462-8820	専門医制度	
理事	高松 潔	272-8513	市川市菅野5-11-13 東京歯科大学市川総合病院	047-322-0151 047-325-4456	編集	
理事	野島美知夫	279-0021	浦安市富岡2-1-1 順天堂大学浦安病院	047-353-3111 047-306-5025	総務	
監事	林 晴男	292-0831	木更津市富士見2-7-1 薬丸病院	0438-25-0381 0438-25-0399		
監事	大高 究	272-0826	市川市真間3-10-8 大高医院	047-322-2856 047-326-8805		
議長	千本 英世	274-0805	船橋市二和東5-57-5 千本産婦人科	047-449-2955 047-449-2592		
副議長	吉岡 英征	272-0021	市川市八幡5-7-22 吉岡産婦人科医院	047-334-4760 047-334-6751		

会員 日本産婦人科医会千葉県支部 地区代表委員名簿

(任期: 平成19年4月1日~平成21年3月31日)

地区	地区代表委員	副地区代表委員
千葉	本間 誠	岩崎 秀昭
習志野・八千代	村田 浩之	神崎 賴仁
船橋・鎌ヶ谷	本田 孔久	千本 英世
市川・浦安	吉岡 英征	寺嶋 勝
松戸・流山	富岡 康広	遠藤 俊男
柏・野田・我孫子	芳野 春生	遠藤 正文
印旛・山武	長岡 貞雄	武田 行巨
香取・銚子・海上・匝瑳	宇田川秀雄	鈴木 秀宣
長生・夷隅・市原	内藤 正文	野本 千恵
安房・木更津	加藤 敏	清川 正章

◆ トピックス ◆

日本産婦人科医会千葉県支部・日本産科婦人科学会千葉地方部会

代議員

(任期: 平成19年4月1日~平成21年3月31日)

※は地方部会のみの代議員

番号	※	地区	氏名	番号	※	地区	氏名
1		千葉	本間 誠	20		印旛山武	秋草 克彦
2		千葉	中川 洋	21		印旛山武	長岡 貞雄
3		千葉	岩崎 秀昭	22		香取銚子海上匝瑳	宇田川秀雄
4		千葉	三宅 崇雄	23		長生夷隅市原	内藤 正文
5		千葉	高橋 敬一	24		長生夷隅市原	野本 千恵
6		習志野八千代	村田 浩之	25		安房木更津	加藤 敏
7		船橋鎌ヶ谷	千本 英世	26		安房木更津	清川 正章
8		船橋鎌ヶ谷	本田 孔久	27	※	千葉	田嶋 達矢
9		船橋鎌ヶ谷	翁 文開	28	※	千葉	田中 尚武
10		市川浦安	吉岡 英征	29	※	千葉	碓井 宏和
11		市川浦安	寺嶋 勝	30	※	習志野八千代	坂井 昌人
12		市川浦安	近江外喜雄	31	※	船橋鎌ヶ谷	斎藤 俊雄
13		松戸流山	富岡 康広	32	※	市川浦安	小島 彰
14		松戸流山	久保田實良	33	※	印旛山武	渡辺美千明
15		松戸流山	遠藤 俊男	34	※	印旛山武	疋田 美直
16		柏野田我孫子	遠藤 正文	35	※	香取銚子海上匝瑳	中村 欽哉
17		柏野田我孫子	崎平 公子	36	※	長生夷隅市原	五十嵐敏雄
18		柏野田我孫子	芳野 春生	37	※	安房木更津	塚本 光志
19		印旛山武	秋葉 隆三				

## 平成18年度事業報告

母体保護法指定医師 291名  
 日産婦医会会員 417名  
 日産婦学会会員 549名  
 日産婦学会専門医 409名  
 (H18. 1. 1現在)

日付	内 容	場 所
4月20日	経理監査を実施	ホテルポートプラザ千葉
4月22日～26日	日産婦学会総会に出席	横浜市
5月8日	代議員会、総会打合せ会を開催	船橋市
5月13日	日産婦医会関東ブロック支部長会に出席 日産婦医会関東ブロック幹事会に出席	東京
5月20日	代議員会、総会を開催	県医
5月23日	専門医申請、書類確認を実施	県医
5月28日	医会社保担当者連絡会に出席	東京
6月2日	専門医申請、書類確認を実施	県医
6月3日	医会関東ブロック支部長会、役員会に出席	東京
6月5日	専門医審査委員会を開催	ホテルポートプラザ千葉
6月17日	支部周産期委員会を開催	県医
6月18日	日産婦学会関東連合地方部会総会に出席	東京
6月22日	支部合同研修会を開催	アパホテル&リゾート(幕張)
6月23日	第1回定例役員会を開催	県医
6月26日	日産婦医会代議員会・総会に出席	東京
7月1日	医会関東ブロック会 社保委員会に出席	東京
7月2日	全国支部献金担当者連絡会に出席	東京
7月6日	千葉県医師会母体保護法指定医師指定審査委員会に出席	県医
7月19日	地方部会のあり方委員会	浦安市
7月22日	支部社会保険委員会を開催	京成ホテルミラマーレ
7月25日	千葉県医師会保険医療研究委員会に出席	県医
7月28日	第1回合同協議会を開催	ホテルポートプラザ千葉
9月8日	地方部会のあり方委員会を開催	浦安市
9月10日	医会関東ブロック支部長会に出席 医会関東ブロック協議会に出席 医会関東ブロック周産期救急医療実態調査委員会に出席	水戸
9月22日	第2回定例役員会を開催	県医
10月1日	日産婦医会支部長会に出席	東京
10月7日	秋季研修会を開催	市原市
10月12日	千葉県医師会母体保護法指定医師指定審査委員会に出席	県医
10月14日～15日	医会学術集会・福島大会に参加 学会関東連合地方部会総会に参加	福島県

◆ 代議員会・総会報告 ◆

日付	内 容	場 所
10月18日	地方部会のあり方委員会を開催	浦安市
10月24日	千葉県医師会保険医療研究委員会に出席	千葉市内
10月27日	第3回定例役員会を開催	県医
10月31日	千葉県助産師会と懇談	千葉市内
11月3日	日産婦医会全国支部がん対策担当者連絡会に出席	東京
11月5日	医会関プロ社保委員会に出席	横浜
	医会関プロ支部長会に出席	東京
	医会関プロ社保協議会に出席	東京
11月11日	医会関プロ幹事会に出席	東京
11月15日	地方部会のあり方委員会を開催	浦安市
11月19日	日産婦医会全国支部医療安全・紛争対策担当者連絡会	東京
11月24日	第2回合同協議会を開催	京成ホテルミラマーレ
12月2日	日本医師会母体保護法指導者講習会に出席	日本医師会
12月9日	医会関プロ広報委員会に出席	東京
12月14日	支部臨時総会打合せ会を開催	ホテルポートプラザ千葉
12月14日	支部医療安全委員会を開催	ホテルポートプラザ千葉
12月16日	支部周産期委員会を開催	八千代市
1月26日	第4回定例役員会を開催	県医
2月3日	支部・地方部会臨時総会を開催	県医
	日産婦学会千葉地方部会冬期学術研修会を開催	県医
2月17日	医会関東プロック幹事会・広報委員会に出席	東京
2月22日	第7回性教育セミナーを開催	千葉市
2月23日	第5回定例役員会を開催 国公立・大学病院等産婦人科医長懇談会を開催 日産婦学会関東連合地方部会理事会に出席	ホテルポートプラザ千葉 ホテルポートプラザ千葉 東京
3月3日	女性の健康週間公開講座を開催	千葉市内
3月10日	医会関東プロック支部長会に出席	東京
	医会関東プロック役員会に出席	東京
3月15日	日産婦医会千葉県支部社保委員会を開催	京成ホテルミラマーレ
3月22日	千葉県医師会母体保護法指定医師指定審査会に出席	県医
3月23日	第3回合同協議会を開催	県医
3月25日	日本産婦人科医会通常総会に出席	東京

## 平成18年度事業報告

### 【総務部】(支部:正・山口理事、副・神谷理事)

(地方部会:大川理事、十河理事、山口理事、鴨井理事、窪谷理事)

(1) 定例代議員会、役員会等各種会議の開催

- ・総会、代議員会
- ・定例役員会
- ・合同協議会
- ・臨時総会

(2) 会員福祉(慶弔ならびに傷病・災害見舞い金)

(3) 千葉県医師会母体保護法指定医師指定審査委員会への協力

報告書点検、指定医師更新ならびに新規指定審査に協力

胞衣処理方法についての調査実施への協力(県医で実施)

(4) 地方部会のあり方委員会を開催

(5) 学会地方部会会則ならびに医会支部会則の改正

(6) 関東ブロック協議会、全国学術集会に参加

(7) 福島県立病院産婦人科医師逮捕に対する抗議、支援募金運動の実施

### 【経理部】(支部:正・諫訪部理事、副・窪谷理事)

(地方部会:諫訪部理事、神谷理事、河西理事)

(1) 年会費の徴収

(2) 関係団体への送金

(3) 平成18年度決算の作成

(4) 平成19年度予算の作成

(5) 役員・委員の旅費日当、委員会費用等の検討

(6) 会費体系等の検討

### 【広報・中央情報部】(支部:正・神谷理事、副:山口理事)

(1) 千葉県産科婦人科医会ホームページの運営・管理

(2) 千葉県支部・千葉地方部会会員FAX網の運用

(3) 産婦人科医会会員のメーリングリストの作成、運用の検討

(4) 千葉県産科婦人科医会報の編集、発行(年3回)

(5) 日産婦医会関東ブロック会広報委員会へ出席

(6) 日産婦医会関東ブロック会報の編集、発行

### 【医事紛争部】(支部:正・佐野理事、副・十河理事)

(1) 毎月1回、千葉県医師会医事紛争処理特別委員会に出席

(2) 日産婦医会全国支部医療安全、紛争対策担当者連絡会に出席

(3) 支部医療安全委員会を2回開催した

(4) 会員に医療の安全に関するアンケートを実施した

### 【医療対策部】(支部:正・窪谷理事、副・佐野理事)

(1) 産科自費診療費調査をして、本部に報告、会報に掲載した

(2) 千葉県助産師会との意見交換を行った

(3) 周産期医療崩壊を阻止すべく情報収集に努めた

(4) 看護師内診問題の情報収集に努め会員に伝達した

## ◆ 代議員会・総会報告 ◆

### 【社会保険部】(支部:正・十河理事、副・河西理事)

- (1) 支部総会(5/20)および地方部会秋季研修会(五井・10/7)において保険伝達講習会を行った
- (2) 医会報により保険診療の運用上の留意点などを報告・伝達
- (3) 千葉県支部社保委員会の開催(2回・7/20 3/15)
- (4) 日産婦医会全国社保担当者連絡協議会(東京・5/28)へ出席
- (5) 日産婦医会関プロ社保協議会(横浜・11/5)社保委員会(東京・7/1 11/5)へ出席
- (6) 県医師会保険医療研究委員会へ出席(7/25・10/24)  
「'06の保険診療のしおり」編集

### 【がん対策部】(支部:正・河西理事、副・大川理事)

- (1) 全国支部がん対策担当者連絡会(11/3・東京)に出席
- (2) 本部がん対策部より依頼された県内市町村「平成18年度婦人科がん検診に関する実態調査票」を作成し、本部に提出した

### 【学術・研修部】(支部:正・吉田理事、副・鴨井理事)

(地方部会:佐野理事、吉田理事、梁理事)

- (1) 日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会総会・特別講演
- (2) 産婦人科専門医の研修および登録と審査
- (3) 日産婦学会千葉地方部会・日産婦医会千葉県支部合同研修会
- (4) 日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会秋季学術研修会
- (5) 日産婦学会千葉地方部会冬期学術研修会
- (6) 平成18年度「女性の健康週間」市民公開講座
- (7) 日本産科婦人科学会千葉地方部会学術奨励賞の選定
- (8) ACOG practice bulletin の配布
- (9) 縦毛性腫瘍登録制度の継続
- (10) 卵巣癌登録制度の継続

### 【勤務医部】(支部:正・鴨井理事、副・吉田理事)

- (1) 第22回平成18年度県立・国公立・大学病院等産婦人科医長との懇談会を開催

### 【母子保健部(性教育)・献金】(支部:正・大川理事、副・諏訪部理事)

- (1) 千葉県性感染症実態調査の実施  
厚生労働省班研究(班長・小野寺)の一部として
- (2) 第7回性教育セミナー開催:千葉市生涯学習センターホール  
テーマ:女性の癌とセクシュアリティ支援 講師 宇津木、高橋他
- (3) 献金促進事業
- (4) 企業協力(伊藤園)の促進

### 【母子保健部(周産期)】(支部:正・清水理事)

- (1) 平成18年12月16日に千葉県周産期委員会を開催し、千葉県周産期医療ネットワーク(母体・新生児搬送システム)の確立を推進するために、母体搬送発生時の搬送先決定方法および搬送方法についてコールセンターの設置、その稼動について協議し、これを承認した
- (2) 千葉県医師会より依頼のあった「周産期医療体制整備のための千葉県への提言」をとりまとめこれを提出した

## 積立金期中移動報告

自 平成18年4月1日  
至 平成19年3月31日

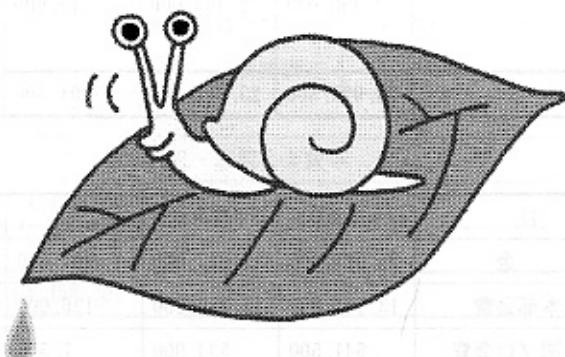
### 1. 諸事業積立金

平成18年4月1日現在高	24,901,941円
本年度一般会計より繰り入れ	1,000,000円
受け取り利息	17,131円
<b>合 計</b>	<b>25,919,072円</b>

以上のとおりご報告申し上げます。

平成19年4月17日

日本産婦人科医会千葉県支部長 十河 正寛  
日本産科婦人科学会千葉地方部会長 吉田 幸洋



## 積立金期中移動報告

前期より繰越	7,574,495
当期収入(本部等)	25,217,000
当期収入(支部・地方部会)	19,183,814
収入合計	51,975,309
当期支出(本部等)	25,217,000
当期支出(支部・地方部会)	18,143,222
支出合計	43,360,222
差引残高(次年度繰越)	8,615,087

## 平成18年度日産婦医会・日産婦学会 本部等収支決算

収入の部	会員構成 :		H18. 1. 1現在		
	自H18. 4. 1 至H19. 3. 31		日産婦医会会員: 430	日産婦医会: 正367・免除57・準6	指定医316
	日産婦学会会員: 555	日産婦学会: 一般495・免除58・名誉2	専門医409		
科 目	18年度予算額	18年度決算額	比較、 増(+)/減(-)	適 要	
I. 本部等会費(入会金を含む)	24,925,500	25,217,000	-291,500		
(1) 日産婦医会会費	13,645,500	13,860,000	-214,500	金額	人数
①日産婦医会本部	13,104,000	13,230,000	-126,000	17年度 正会員	36,000 3 108,000
				17年度 準会員	18,000 0 0
				18年度 正会員	36,000 360 12,960,000
				18年度 準会員	18,000 9 162,000
				小計	372 13,230,000
②日産婦医会関プロ	541,500	630,000	-88,500	17年度	1,500 3 4,500
				18年度	1,500 417 625,500
				小計	420 630,000
(2) 日産婦学会会費	11,280,000	11,357,000	-77,000		
①日産婦学会本部	8,820,000	8,874,000	-54,000	17年度	18,000 0
				18年度	18,000 493 8,874,000
②日産婦学会本部入会金	10,000	18,000	-8,000		1,000 18 18,000
③関東連合	2,450,000	2,465,000	-15,000	17年度	5,000 0 0
				18年度	5,000 493 2,465,000
合 計	24,925,500	25,217,000	-291,500		

## 支出の部

科 目	18年度予算額	18年度決算額	比較、 増(+)/減(-)	適 要
I. 納付金	24,925,500	25,217,000	-291,500	
(1) 日産婦医会本部会費	13,104,000	13,230,000	-126,000	
(2) 日産婦医会関プロ会費	541,500	534,000	7,500	
(3) 日産婦学会本部会費	8,820,000	8,874,000	-54,000	
(4) 日産婦学会本部入会金	10,000	18,000	-8,000	
(5) 関東連合会費	2,450,000	2,465,000	-15,000	
(6) 支部会計へ	0	96,000	-96,000	支部収入へ(預かり金)

## 平成18年度日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会収支決算

収入の部	自H18.4.1 至H19.3.31	会員構成 :		H18. 1. 1現在			
		日産婦医会会員 : 430		日産婦医会 : 正367・免除57・準6		指定医316	
		日産婦学会会員 : 555		日産婦学会 : 一般495・免除58・名誉2		専門医409	
科 目	18年度予算額	18年度決算額	比較、 増(+)/減(-)	適 要			
I. 支部・地方部会会費 (入会金を含む)	13,108,000	14,827,000	-1,719,000				
(1) 日産婦医会支部	9,138,000	10,839,000	-1,701,000	金額	人數	総額	
①医会支部会費	9,043,000	10,499,000	-1,456,000	17年度 正会員	25,000	0	0
				準会員	3,000	0	0
				18年度 正会員	25,000	419	10,475,000
				準会員	3,000	8	24,000
					小計	427	10,499,000
②医会支部入会金	95,000	340,000	-245,000	入会金	5,000	18	90,000
				特別負担金	50,000	5	250,000
(2) 日産婦学会地方部会	3,970,000	3,988,000	-18,000				
①学会地方部会会費	3,920,000	3,888,000	32,000	17年度	8,000	0	0
				18年度	8,000	486	3,888,000
②学会地方部会入会金	50,000	100,000	-50,000		5,000	20	100,000
II. 交付金	1,140,000	3,583,821	-2,443,821				
(1) 交付金	1,140,000	3,583,821	-2,443,821	予算額	決算額	差額: 増減	
				県医師会	400,000	2,493,600	-2,093,600
				おぎやー献金還元金	50,000	111,234	-61,234
				おぎやー献金推進補助金	30,000	55,617	-25,617
				日産婦学会会費還元金	200,000	236,900	-36,900
				関連地会費還元金	100,000	119,750	-19,750
				医会会費還元金	350,000	380,700	-30,700
				医会関プロ還元金	10,000	16,020	-6,020
				医会研修会補助	50,000	80,000	-30,000
				学会市民公開講座	0	90,000	-90,000
III. 寄付金	1,000	0	1,000				
IV. 雜収入	476,505	772,993	-296,488	利息・懇親会会費等			
小 計	14,725,505	19,183,814	-4,458,309				
V. 繰越金	7,574,495	7,574,495	0				
合 計	22,300,000	26,758,309	-4,458,309				

◆ 代議員会・総会報告 ◆

支出の部

科 目	18年度予算額	18年度決算額	比較、差(+/-)	適 要	18年度予算額	18年度決算額	差 領
I. 事 務 費	8,365,000	7,509,429	855,571				
(1) 事務委託費	3,885,000	3,885,000	0				
(2) 事務所使用費	950,000	835,000	115,000				
(3) 事 務 費	3,530,000	2,789,429	740,571	① 通信費 ② 消耗品費 ③ 旅 費 ④ 印刷費 ⑤ 振込手数料 ⑥ 人件費 900*7h*20d*12m+交通費	1,200,000 120,000 10,000 600,000 150,000 1,700,000	1,394,740 95,204 0 52,500 63,210 1,183,775	-194,740 24,796 10,000 547,500 86,790 516,225
II. 会 議 費	2,860,000	2,183,545	676,455	平均経費 * 人数 * 回数 ① 役員会 11,000×20×10 ② 地区代表委員会 11,000×10×3 ③ 会議費 10,000×35×2 ④ 代議員会 11,000×60×1 ⑤ 県外諸会議	1,320,000 180,000 400,000 360,000 600,000	939,580 147,860 600,205 199,120 296,780	380,420 32,140 -200,205 160,880 303,220
III. 事 業 費	7,690,000	5,450,248	2,239,752				
(1) 総会・学術集会費	2,100,000	1,823,658	276,342	① 総 会 ② 秋季研修会 ③ 冬期研修会 ④ 公開講座 ⑤ 性教育セミナー	600,000 400,000 600,000 300,000 200,000	377,348 400,000 600,000 300,000 146,310	222,652 0 0 0 53,690
(2) 総務部	1,120,000	382,671	737,329	① 庶務一般 ② 会員名簿発行費 ③ 法制 ④ 渉外 ⑤ あり方委員会	200,000 800,000 20,000 60,000 40,000	328,217 0 0 10,000 44,454	-128,217 800,000 20,000 50,000 -4,454
(3) 経理部	50,000	62,175	-12,175		50,000	62,175	-12,175
(4) 広報部	900,000	977,928	-77,928		900,000	977,928	-77,928
(5) 中央情報	500,000	281,400	218,600		500,000	281,400	218,600
(6) 福祉弔慰金	140,000	160,000	-20,000		140,000	160,000	-20,000
(7) 医事紛争部	250,000	104,675	145,325	① 医事紛争部 ② 医療安全対策	5,000 200,000	0 104,675	5,000 95,325
(8) 医療対策部	50,000	0	50,000		50,000	0	50,000
(9) 献金部	30,000	0	30,000		30,000	0	30,000
(10) 社会保険部	200,000	233,459	-33,459		200,000	233,459	-33,459
(11) 税対策部	50,000	0	50,000		50,000	0	50,000
(12) 研修部	900,000	706,340	193,660	講演料(総会・秋季研修会) acog(Technical Bulletin)配布	400,000 500,000	306,340 400,000	93,660 100,000
(13) 学術部	350,000	300,000	50,000	① 各種登録委員会 ② 功労、学術奨励費 ③ 同上、選考委員会費	200,000 100,000 50,000	200,000 100,000 0	0 0 50,000
(14) 勤務医部	400,000	335,582	64,418		400,000	335,582	64,418
(15) 調査研究費	100,000	82,360	17,640		100,000	82,360	17,640
(16) 母子保健(周産期)	500,000	0	500,000	周産期	500,000	0	500,000
(17) 性教育	200,000	0	200,000	性教育	200,000	0	200,000
(18) 電話相談事業	50,000	0	50,000	(今年度のみ事業)	50,000	0	50,000
IV. 積 立 金	1,000,000	3,000,000	-2,000,000				
(1) 諸事業積立金	1,000,000	1,000,000					
(2) 特別積立金	0	2,000,000					
V. 予 備 費	900,000	0	900,000				
小 計	20,815,000	18,143,222	2,671,778				
VI. 次年度繰越金	1,485,000	8,615,087	-7,130,087				
合 計	22,300,000	26,758,309	-4,458,309				

## (案) 経理監査報告

平成18年度日本産婦人科医会千葉県支部および日本産科婦人科学会千葉地方部会の収支決算について慎重監査したところ適正妥当であることを認めます。

平成19年4月17日

日本産婦人科医会千葉県支部長 十河 正寛 殿  
日本産科婦人科学会千葉地方部会長 吉田 幸洋 殿

日本産婦人科医会千葉県支部

監事 林 晴男 印

監事 井橋 力 印

日本産科婦人科学会千葉地方部会

監事 林 晴男 印

監事 大高 究 印



## 平成19年度事業計画（案）

### 【総務部】

- (1) 定例代議員会、役員会など各種会議の開催
  - ・総会、代議員会
  - ・定例役員会
  - ・合同協議会
- (2) 会員福祉（慶弔ならびに傷病・災害見舞金）
- (3) 千葉県医師会母体保護法指定医師指定審査委員会への協力
  - ・報告書点検、新規指定医療機関新規指定審査への協力
- (4) 地方部会あり方委員会を継続開催
- (5) 学会地方部会会則ならびに医会支部会則の改正後の再検討
- (6) 関東ブロック協議会、全国学術集会に参加
- (7) 福島県立病院産婦人科医師逮捕に対する抗議、支援募金運動の実施継続
- (8) 千葉県医療実態調査の実施
- (9) 会員名簿の発行
- (10) 医会、地方部会の役割の見直し
- (11) その他

### 【経理部】

- (1) 年会費の徴収
- (2) 関係団体への送金
- (3) 平成19年度決算の作成
- (4) 平成20年度予算の作成
- (5) 役員・委員の旅費日当、委員会費用等の検討
- (6) 会費体系等の検討
- (7) 歳入減に伴う歳出の検討
- (8) その他

### 【広報・中央情報部】

- (1) 千葉県産婦人科医会報の編集、発行（年3回）
- (2) 千葉県産科婦人科医会ホームページの運営・管理・情報提供
  - ホームページの内容の更なる充実と活用に努める
- (3) その他

### 【医事紛争部】

- (1) 日本産婦人科医会の医療安全対策院内研修会用の資料及び、医療安全委員会のアンケートに基づき、今年度も医療事故、過誤防止のための整備事業の推進を図る
- (2) 医療安全委員会と協力し、今年度も第3回目のアンケートを計画している
- (3) 千葉県医師会医療安全推進委員会及び医事紛争処理特別委員会への協力
- (4) 保助看法問題につき、当部でも前向きに検討する
- (5) その他

### 【医療対策部】

- (1) 産婦人科医業経営健全化のための施策の検討
- (2) 保助看法問題につき、本部・他県支部等と連携をとり協力する
- (3) 千葉県助産師会との意見交換会の開催
- (4) 少子化対策の検討
- (5) 周産期委員会への協力
- (6) 子宮がん、乳がん、骨粗鬆症検診などの婦人科関連検診事業の県内実施状況の把握と地域格差の解消・精度管理への協力
- (7) その他

### 【社会保険部】

- (1) 保険診療の運用上の留意点及び給付に関する問題点などについて研修会・医会報などにより会員に伝達
- (2) 千葉県支部社保委員会を必要に応じて開催し、保険給付外の問題点および点数改訂ならびに通知・疑義解釈などの運用上の留意点などの検討を行う。
- (3) 日産婦医会社保部および社保・国保の審査委員会との連携を密にして、診療運用上の統一をはかる
- (4) 日産婦医会全国社保担当者連絡協議会の報告および伝達
- (5) 日産婦医会関プロ社保協議会・社保委員会の開催への協力 (11/4 : 京成ホテル)
- (6) 千葉県医師会保険医療研究委員会の報告及び伝達
- (7) その他

### 【がん対策部】

- (1) 受診率向上対策  
昨年に引き続き若年者の子宮頸がん罹患率の増加をアピールして、20歳代のがん検診の受診率向上対策を検討する
- (2) 検診精度管理対策  
「千葉県保健サービス評価専門委員会」子宮がん部会の再活動策の検討
- (3) 本部がん対策部の「検診に関する実態調査」に協力する
- (4) その他

### 【学術・研修部】

- (1) 今年度の研修テーマ
  - A. 母体保護法に関する諸問題
  - B. 会員研修ノート
    1. 胎児の評価法～胎児評価による分娩方針の決定
    2. 女性外来～ライフサイクルに応じたプライマリケア医として
- (2) ACOG practice bulletinの配布の中止と日本産科婦人科学会千葉地方部会雑誌の刊行
- (3) 日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会総会 (5/26 : 県医師会会議室)  
特別講演－弘前大学・水沼英樹教授
- (4) 日産婦学会千葉地方部会・日産婦医会千葉県支部合同研修会の開催 (6/21: APAホテル)
- (5) 日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会秋季学術研修会 (中地区担当・印旛山武)  
研修講演 今年度の研修テーマ？あるいはその他のトピックス
- (6) 日産婦学会千葉地方部会・日産婦医会千葉県支部冬期学術研修会の開催 (担当・千葉大学)

## ◆ 代議員会・総会報告 ◆

- (7) 学術奨励賞の授与
- (8) 日産婦学会千葉地方部会・日産婦医会千葉県支部主催 平成19年度「女性のための健康週間」市民公開講座の開催（期日未定）
- (9) 日産婦学会専門医制度・一次選考
- (10) 純毛性腫瘍登録制の継続
- (11) 専門医卒後研修の継続
- (12) 卵巣癌登録制の継続
- (13) その他

### 【勤務部】

- (1) 第23回平成19年度県立・国公立・大学病院等産婦人科医長との懇談会の開催
- (2) 千葉県における勤務医の実態調査の実施
- (3) その他

### 【女性保健部・献金】

- (1) 千葉県性感染症調査の実施
- (2) 千葉県産婦人科医会女性保健委員会を設置  
教育委員会、医師会、千葉県警、女性サポートセンターなど  
自治体関係部署、民間団体との連携を図る  
千葉県男女共同参画課が推進する「生涯を通じた女性の健康支援」に貢献する
- (3) 第8回性教育セミナーの実施
- (4) 献金促進事業
- (5) その他

### 【母子保健部（周産期）】

- (1) 本周産期委員会を産科サイドの軸とし、関係各位との連携強化を図り、千葉県周産期医療ネットワーク（母体・新生児搬送システム）の確立および実行を推進する
- (2) 消防・救急への周産期医療の特殊性の周知と搬送体制の確立を推進する  
その一環として、搬送先決定方法および搬送方法についてコールセンターの設置、稼動の潤滑的運用を行政に働きかけていく
- (3) その他

## 平成19年度日産婦医会・日産婦学会 本部等収支予算(案)

		会員構成 :		H19. 1. 1現在			
自 H19. 4. 1		日産婦医会会員: 417		日産婦医会: 正354・免除56・準7		指定医291	
収入の部	至 H20. 3. 31	日産婦学会会員: 549		日産婦学会: 一般486・免除60・名誉3		専門医409	
科 目	19年度予算額	18年度予算額	比較、 増(+)/減(-)	適 要			
I. 本部等会費(入会金を含む)	24,733,000	24,925,500	-192,500				
(1) 日産婦医会会費	13,476,000	13,645,500	-169,500	金額	人数	総額	
①日産婦医会本部	12,942,000	13,104,000	-162,000	18年度 正会員	36,000	2	72,000
				18年度 準会員	18,000	0	0
				19年度 正会員	36,000	354	12,744,000
				19年度 準会員	18,000	7	126,000
				小計	363		12,942,000
②日産婦医会関プロ	534,000	541,500	-7,500	18年度	1,500	2	3,000
				19年度	1,500	354	531,000
				小計	356		534,000
(2) 日産婦学会会費	11,257,000	11,280,000	-23,000				
①日産婦学会本部	8,802,000	8,820,000	-18,000	18年度	18,000	3	54,000
				19年度	18,000	486	8,748,000
				小計	489		8,802,000
②日産婦学会本部入会金	10,000	10,000	0		1,000	10	10,000
③関東連合	2,445,000	2,450,000	-5,000	18年度	5,000	3	15,000
				19年度	5,000	486	2,430,000
				小計	489		2,445,000

## 支出の部

科 目	19年度予算額	18年度予算額	比較、 増(+)/減(-)	適 要
I. 納 付 金	24,733,000	24,925,500	-192,500	
(1) 日産婦医会本部会費	12,942,000	13,104,000	-162,000	
(2) 日産婦医会関プロ会費	534,000	541,500	-7,500	
(3) 日産婦学会本部会費	8,802,000	8,820,000	-18,000	
(4) 日産婦学会本部入会金	10,000	10,000	0	
(5) 関東連合会費	2,445,000	2,450,000	-5,000	

◆ 代議員会・総会報告 ◆

平成19年度日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会収支予算 案

		会員構成 :		H19. 1. 1現在		
		自H19.4.1 収入の部	至H20.3.31	日産婦医会会員:	日産婦医会: 正354・免除56・準7	指定医291
				日産婦学会会員:	日産婦学会: 一般486・免除60・名誉3	専門医409
科 目	19年度予算額	18年度予算額	比較、 増(+)減(-)	適 要		
I. 支部・地方部会会費 (入会金を含む)	12,988,000	13,108,000	-120,000			
(1) 日産婦医会支部	9,026,000	9,138,000	-112,000	金額 人數 総額		
①医会支部会費	8,946,000	9,043,000	-97,000	18年度 正会員	25,000	3 75,000
				18年度 準会員	3,000	0 0
				19年度 正会員	25,000	354 8,850,000
				19年度 準会員	3,000	7 21,000
				小計		364 8,946,000
②医会支部入会金	80,000	95,000	-15,000	入会金	5,000	6 30,000
				特別負担金	50,000	1 50,000
(2) 日産婦学会地方部会	3,962,000	3,970,000	-8,000			
①学会地方部会会費	3,912,000	3,920,000	-8,000	18年度	8,000	3 24,000
				19年度	8,000	486 3,888,000
				小計		489 3,912,000
②学会地方部会入会金	50,000	50,000	0	5,000 10 50,000		
II. 交付金	1,210,000	1,140,000	70,000			
(1) 交付金	1,210,000	1,140,000	70,000	19年度	18年度	差額: 増減
				県医師会	400,000	400,000 0
				おぎやー献金還元金	30,000	50,000 -20,000
				おぎやー献金推進補助金	30,000	30,000 0
				日産婦学会会費還元金	200,000	200,000 0
				関連地会費還元金	100,000	100,000 0
				医会会費還元金	300,000	300,000 0
				医会関プロ還元金	10,000	10,000 0
				医会研修会補助金	50,000	50,000 0
				公開講座補助金	90,000	0 90,000
III. 寄付金	1,000	1,000	0			
IV. 雜収入	105,913	476,505	-370,592			
小 計	14,304,913	14,725,505	-420,592			
V. 緑越金	8,615,087	7,574,495	1,040,592			
合 計	22,920,000	22,300,000	620,000			

◆ 代議員会・総会報告 ◆

支出の部

科 目	19年度予算額	18年度予算額	比較(+)(減(-))	適 要	19年度予算額	18年度予算額	差 額
I. 事 務 費	8,595,000	8,385,000	230,000				
(1) 事務委託費	3,885,000	3,885,000	0		3,885,000	3,885,000	
(2) 事務所使用費	950,000	950,000	0	630000*1、25000*10、70000*1	950,000	950,000	
(3) 事 務 費	3,760,000	3,530,000	230,000	① 通信費 ② 消耗品費 ③ 旅 費 ④ 印刷費 ⑤ 振込手数料 ⑥ 人件費	1,400,000 150,000 10,000 600,000 100,000 1,500,000	1,200,000 120,000 10,000 600,000 100,000 1,500,000	200,000 30,000 0 0 0 0
II. 会 議 費	4,110,000	2,860,000	1,250,000	平均経費(日当+旅費)*人数*回数			
				① 役員会 7,000×35×10 ② 地区代表委員会 7,000×10×3 ③ 会議費 3,000×15×2(税5,000円会費込) ④ 代議員会 ⑤ 県外諸会議	2,450,000 210,000 450,000 0 1,000,000	1,320,000 180,000 400,000 360,000 1,000,000	1,130,000 30,000 50,000 -360,000 0
III. 事 業 費	6,710,000	7,890,000	-1,180,000				
(1) 総会・学術集会費	2,050,000	2,100,000	-50,000	① 総 会 ② 秋季研修会 ③ 冬期研修会 ④ 公開講座 ⑤ 性教育セミナー	600,000 400,000 600,000 300,000 150,000	600,000 400,000 600,000 300,000 200,000	0 0 0 0 -50,000
(2) 総務部	1,030,000	1,120,000	-90,000	① 庁務一般 ② 会員名簿発行費 ③ 法制 ④ 渉外 ⑤ 地方部会あり方委員会 ⑥ 会則改正検討委員会	100,000 800,000 20,000 50,000 30,000 30,000	200,000 800,000 20,000 60,000 40,000 0	-100,000 0 0 -10,000 -10,000 30,000
(3) 経理部	30,000	50,000	-20,000			30,000	50,000 -20,000
(4) 広報部	800,000	900,000	-100,000			800,000	1,200,000 -400,000
(5) 中央情報	400,000	500,000	-100,000			400,000	500,000 -100,000
(6) 福祉弔慰金	140,000	140,000	0			140,000	140,000 0
(7) 医事紛争部	180,000	250,000	-70,000	① 医事紛争部 ④ 医療安全対策	30,000 150,000	50,000 200,000	-20,000 -50,000
(8) 医療対策部	30,000	50,000	-20,000			30,000	50,000 -20,000
(9) 献金部	20,000	30,000	-10,000			20,000	30,000 -10,000
(10) 社会保険部	150,000	200,000	-50,000			150,000	200,000 -50,000
(11) がん対策部	30,000	50,000	-20,000			30,000	50,000 -20,000
(12) 研修部	600,000	900,000	-300,000	講演料(総会・秋季研修会) acog(Technical Bulletin)配布 地方部会会誌	300,000 0 300,000	400,000 500,000 0	-100,000 -500,000 300,000
(13) 学術部	350,000	350,000	0	① 各種登録委員会 ② 功労、学術奨励費 ③ 同上、選考委員会費	200,000 100,000 50,000	200,000 100,000 50,000	0 0 0
(14) 勤務医部	300,000	400,000	-100,000			300,000	400,000 -100,000
(15) 調査研究費	100,000	100,000	0			100,000	100,000 0
(16) 母子保健	400,000	500,000	-100,000			400,000	500,000 -100,000
(17) 女性保健部	100,000	200,000	-100,000	性教育部→女性保健部	100,000	200,000	-100,000
(18) 電話相談事業	0	50,000	-50,000			0	50,000 -50,000
IV. 積 立 金	500,000	1,000,000	-500,000				
(1) 諸事業積立金	500,000	1,000,000	-500,000				
V. 予 備 費	1,000,000	900,000	100,000				
小 計	20,915,000	21,015,000	-100,000				
VI. 次年度繰越金	2,005,000	1,285,000					
合 計	22,920,000	22,300,000	620,000				

## 平成18年度 学術研修会実施一覧

	月日	研修会名	場所
1	4月6日	第25回千葉県こども病院周産期カンファレンス	千葉県こども病院
2	4月13日	千葉市地区産婦人科医会研修会	オークラ千葉ホテル
3	5月18日	北総産婦人科医会講演会	聖徳大学
4	5月18日	君津木更津新生児未熟児研究会	東京ベイプラザホテル
5	5月20日	平成18年度日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会総会	千葉県医師会 大会議室
6	5月25日	印旛市郡・山武産婦人科医会学術セミナー	ワインシュトンホテル・ユーカリ
7	5月25日	第32回東葛北部小児科臨床読話会	三井ガーデンホテル
8	5月26日	第33回東総産婦人科医会講演会	銚子プラザホテル
9	5月27日	船橋地区産婦人科医会学術研修会	船橋グランドホテル
10	6月3日	第24回千葉県母性衛生学会学術集会	千葉県総合保健医療センター
11	6月10日	千葉県STI(性感染症)第4回学術集会	センシティータワー23階 大会議室
12	6月16日	市川産婦人科医会懇話会	市川市医師会館
13	6月17日	第5回千葉県周産期新生児研究会	千葉県医師会大会議室
14	6月19日	第183回学術講演会	順天堂大学浦安病院
15	6月22日	日産婦学会千葉地方部会・日産婦医会千葉県支部合同研修会	幕張プリンスホテル
16	6月26日	第37回上総産婦人科医会臨床検討会	帝京大学医学部附属市原病院
17	7月10日	第7回北総ブレストケアセミナー	三井ガーデンホテル柏
18	7月13日	第5回順天堂大学浦安病院産婦人科臨床カンファレンス	順天堂大学浦安病院新館
19	7月15日	船橋地区産婦人科医会学術研修会	船橋グランドホテル
20	7月19日	第47回北総産婦人科医会臨床症例検討会	東京慈恵会医科大学附属柏病院
21	8月10日	第26回千葉県こども病院周産期カンファレンス	千葉県こども病院
22	9月9日	第7回千葉リプロダクション研究会・学術講演会	ばるるプラザ千葉
23	9月15日	千葉県がん拠点病院学術講演会(第34回東総産婦人科医会講演会)	総合病院国保旭中央病院
24	9月16日	船橋地区産婦人科医会学術研修会	船橋グランドホテル

	月日	研修会名	場所
25	9月20日	君津木更津産婦人科医会学術研修会	東京ベイプラザホテル
26	10月5日	松戸整形外科医会・北総婦人科医会合同学術研究会	聖徳大学
27	10月7日	平成18年度日本産婦人科医会千葉県支部・日本産科婦人科学会千葉地方部会 秋季学術研修会	五井グランドホテル
28	10月 7日、14日 21日、28日	DV被害者支援専門講座	国立病院機構 千葉医療センター
29	11月11日	船橋市整形外科医会・船橋市外科医会・船橋地区産婦人科医会合同学術研修会	船橋グランドホテル
30	11月13日	第38回上総産婦人科臨床検討会	帝京大学ちば総合医療センター
31	11月16日	市原市医師会学術講演会	五井グランドホテル
32	11月17日	第8回婦人科臨床腫瘍研究会	ホテル・ザ・マンハッタン
33	11月18日	船橋地区産婦人科医会学術研修会	船橋グランドホテル
34	12月1日	千葉市地区産婦人科医会研修会	オークラ千葉ホテル
35	12月1日	市川産婦人科懇話会	市川市医師会館
36	1月13日	船橋地区産婦人科医会学術研修会	船橋グランドホテル
37	1月22日	第8回北総プレストケアセミナー	三井ガーデンホテル柏
38	2月3日	日産婦学会千葉地方部会冬期学術講演会	千葉県医師会会議室
39	2月15日	第6回順天堂大学浦安病院産婦人科臨床カンファレンス	順天堂大学浦安病院
40	2月16日	第3回北総不妊症研究会	三井ガーデンホテル柏
41	2月21日	君津木更津産婦人科医会学術講演会	東京ベイプラザホテル
42	2月21日	第48回北総産婦人科医会臨床症例検討会	国保松戸市立病院
43	2月22日	第7回日本産婦人科医会千葉県支部・日本産科婦人科学会千葉地方部会性教育セミナー	千葉市生涯学習センター
44	3月3日	平成18年度「女性の健康週間」 市民公開講座「今、千葉県のお産を考える」	千葉駅ビル6階 ペリエホール
45	3月12日	第39回上総産婦人科臨床検討会	帝京大学ちば総合医療センター
46	3月31日	船橋地区産婦人科医会(平成19年3月)学術研修会	船橋グランドホテル

## 平成18年度冬期学術講演会を主催して

日本医科大学千葉北総病院女性診療科 鴨井青龍

平成18年度冬期学術講演会は、日本医科大学千葉北総病院が当番世話人でありました。平成19年2月3日（土曜日）に、千葉県医師会（ホテルニューカモト2F）で開催させていただきましたので報告させていただきます。学術講演会の主催の立場から考えると、印旛山武地区のどこかの会場で開催したい、また、学会は本来の学問以外の部分には出費はせず、なるべく多くの会員に出席していただき、活発な学会にしたいというのが理想です。しかし、今回は、学会の同日に、平成19年度の新役員を決定する千葉地方部会・千葉県支部臨時総会を開催したいとの理事会からの要請がありました。土曜日の午後を使って、学術講演会と懇親会を行うのが恒例であります。特別講演は、既に朝倉啓文先生にお願いしていましたし、臨時総会が延長したときはどうしたらよいかと、従来、学術講演会だけのところに、臨時総会を組み込むことに、プログラムの決定には困難を極めました。参加会員の皆様に犠牲をしいることになりましたが、開始時間を早め終了時間を遅くすることしか解決策はありませんでした。また、今回、業務の簡略化を狙って抄録は電子メールのみとさせていただきましたが、ご協力いただき感謝しております。

当日は、午後1時から開始させていただきました。婦人科1は日本医科大学千葉北総病院の黒瀬圭輔医師の座長で、千葉県がんセンターの大崎達也先生、成田赤十字病院の山地 沙知先生、東邦大学医療センター佐倉病院の石田 洋昭先生、旭中央病院の高嶺 智子先生、千葉市立青葉病院の錦見 恭子先生に発表していただきました。産科1は、東邦大学医療センター佐倉病院の産婦人科の矢野ともね先生の座長のもと、日本医科大学千葉北総病院の河野 美貴子研修医、松戸市立病院の山本 憲子先生、東京歯科大学市川総合病院の小林 佑介先生、東邦大学医療センター佐倉病院の齋藤 麻由美先生による発表がありました。産科2は、千葉大医学部付属病院の増田健太郎先生の座長のもと、帝京大学ちば総合医療センターの川村 久恵先生、帝京大学ちば総合医療センターの中村 泰昭先生、窪谷産婦人科の窪谷 潔先生、順天堂大学浦安病院の山本 佑華先生による発表がありました。婦人科2は順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院の野島美知夫先生の座長のもと、千葉大学付属病院の木原真紀先生、船橋市立医療センターの永光 雄造先生、帝京ちば総合医療センターの武藤 聰子先生、成和会山口病院の山口 曜先生の発表がありました。最後の婦人科3は帝京大学千葉総合医療センターの五十嵐敏雄先生の座長で、東京慈恵会医科大学付属柏病院の福田 貴則先生、東京歯科大学市川総合病院の高橋香織先生、松戸市立病院の千田 裕美子先生の発表、また帝京平成看護短期大学の川名 尚先生に講演をいただき、計21演題の発表が無事終了致しました。

日常の臨床が忙しいなか、多数出席していただきましたことに感謝し、また一緒に勉強できましたことをうれしく思います。

特別講演として、日本医科大学武藏小杉病院教授の朝倉啓文先生に「正期産化死児と胎児脳障害について」という題で話していただきました。その後は、ホテルポートプラザ千葉で開催された千葉地方部会・千葉県支部総会を挟んで、総会の終了後「パールの間」でささやかな懇親会を設けさせていただきました。学術講演会が終了してから時間が経過してしまい、若い会員の先生方が少なかったのは残念되었습니다。

## 平成18年度「女性の健康週間」市民公開講座 開催報告

**「今、千葉県のお産を考える — 安心して生むことのできる千葉県に」**

学術担当理事 梁 善光

今年も日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会が主導する一大事業である「女性の健康週間」の千葉県企画としての市民公開講座がさる3月3日に開催されました。本日はこの開催報告をさせていただきます。

平成18年は産科医療に対してかつてないくらい強い逆風吹き荒れた年でした。分娩に関連した数多くの問題が全国で社会問題化し、ある意味一般市民から産科医療がどうなっているのか、とあらためて注目を浴びることになりました。周産期医療に頻度の高い訴訟の問題、分娩を取り扱う周産期専門医師不足の問題、助産師以外の内診の可否に関する問題等々……。これらの問題は私ども産婦人科医師の中で解決していくなければならない部分もありますが、その一方でなにより一般市民のみなさんに現状を知っていただきたい、という思いは会員の先生方がすべてお感じになっていたのではないかと思います。この公開講座の企画は昨年の9月に担当理事および県内7大学の諸先生方で構成した別の委員会の中で素案を立案いたしましたが、最もタイムリーな話題としてこのテーマを取り上げたのはきわめて自然なことがありました。

講師の人選も比較的スムースに決まりました。学会・医会からは千葉大・生水教授、船橋・山口病院の山口先生、旭中央病院の宇田川先生を指名させていただき、ご快諾を得ることができました。助産師を代表して日本助産師会千葉県支部から斎藤葉子氏、さらに行政を代表して千葉県庁から山木まさ氏がご講演いただけすることになりました。当初は市民代表の有識者の方の発言も検討しておりましたが適任者がみつからず断念し、かわりにこれから産科医療を担うことになるであろう現役医学部生の意見を特別発言という形で盛り込むことになりました。

ほとんどすべてが初めてで手探りの状態からスタートした昨年度に比べると、会場確保が昨年より早く動いたにもかかわらず難航したことを除けば、今回は比較的余裕をもって準備ができたように思います。昨年度は情宣活動に割く時間がなかったこともあり、その反省をふまえて今回はできる限り新聞・テレビ等のマスコミを通じて一般のみなさんに周知をはかろうと早めに働きかけを行いました。その甲斐あってか前日の3月2日には読売新聞朝刊・京葉版に記事として取り上げていただくことができたのですが、どれだけ多くの皆さんにこれをお読みいただけたでしょうか？

さて当日ですが、司会は昨年もお引き受けいただいたプロのMC (master of ceremonyの略です) である今村優理子氏にお願いして会を進行していただきました。前述の3人の先生方からはそれぞれ熱のこもった講演の中に、大学病院が抱える問題、都市部の病院・医院を取り巻く問題、都部の産科医療供給の問題をお話いただき、学会・医会側から市民の皆さんに発信るべきメッセージは十分に伝えることができたのではないかと思います。また、県内の助産師業務にたちはだかる問題点や県の母子保健行政の現状をその直接の担当者から伺うことができたことは、一般市民のみならず私ども産婦人科医師にとっても貴重な意見を拝聴する機会だったと思います。昨年同様、総合討論では活発な質疑応答がなされ、盛会のうちに会は終了することができました。

今回の企画に対しては、むしろマスコミの注目度の方がやはり高かったようです。気づかれた方もいらっしゃるとは思いますが、NHK千葉放送局のクルーが当日会場に取材にきていました。平

日お昼ごろの放送ですのでリアルタイムにごらんになれた方は先生方の中では少なかったかもしれません、翌々週の3月12日の月曜日のNHK総合「こんにちは いっとく6けん」で千葉放送局発として関東地区全域に今回の市民公開講座の内容の一部がon airされました。この報道や前日の新聞記事も合わせて、私たち学会千葉地方部会・医会千葉県支部がこのような市民への啓蒙の取り組みを行っていることは十分に伝えることができたのではないかと思っています。

しかしながら、残念なことに今年の当日の参加者は129名と期待したほどの入りにはならず、昨年度実績（141名）にも及びませんでした。もっとも学会本部の資料では別表のようにこの企画はどこの県も人集めに苦労しているようで、日産婦のホームページを見る限り産経新聞とタイアップしている??らしい大阪は別格とすれば、私たち千葉県は健闘していると言えるかもしれません。しかし、せっかくの企画であり収容人員の多い会場を準備しているのですから何とか会場一杯になるくらいの市民の皆さんにご参集いただきたいものです。内容的にはアンケートの結果も概ね良好ですし、またNHKのディレクターの方から“とってもいい企画なのにどうしてこのくらいしか聴衆があつまらないんですかねえ、もったいない”という感想もいただいたくらいです。今年度は是非とも会員の先生方のさらなるご協力を重ねてお願いする次第です

今年度の市民公開講座は昨年の轍を踏まないように、会場確保を一年前に開始してすでに「女性の健康週間」中の土曜日である平成20年3月8日に昨年度の会場であった千葉市文化センターを確保できています。講演テーマ等はまだ未定ですので、何かよいお知恵・ご意見があればお知らせいただければと思います。

表 平成18年度女性の健康週間中開催の地方部会担当公開講座報告（抜粋）

	府県名	参加人数
①	大阪	630
②	島根	160
③	福井	140
④	千葉	129
⑤	香川	88
⑥	徳島	85
⑦	三重	74
⑧	奈良	62
⑨	岡山	62
⑩	栃木	56

## 松戸市立病院

松戸市立病院 産婦人科 産婦人科部長 伊澤美彦

### (当院の紹介)

当院は、昭和25年に、外科・内科・小児科・産婦人科・理学療法科の病床数25で開設されました。そして、昭和42年に、現在のJR松戸駅より徒歩約10分の上本郷に移転し、国保松戸市立病院と改称しました。当時は、一般病床146と結核病床36で、9診療科目でした。その後、規模を増大し、平成15年に血液内科を設置し、23科(救急部を含まず)となりました。ベッド数は、平成18年3月現在で、一般病床605床、感染症病床8床です。なお、小児医療センターが完成したのは、昭和58年です。

### (産科概況の変遷)

	2006年(1.1~12.31)	S56年度(S56.4.1~S57.3.31)
分娩数	600	578
紹介例	42.2%	24.0%
高年初産数／初産総数	19.9%	9.4%
帝王切開	166(28.0%)	29(5.0%)
多胎	55(9.2%)	13(2.0%)
新生児センター入院	32.6%	11.7%
早産(37W~)	21.3%	8.7%
(34W~)	8.3%	4.7%

表のように、私が当科に出張してきたS56年当時と、現在とは、随分状況が変化しております。近年、新生児センターに入院する児は、3人に1人と極めて高率になってきております。これは、近隣の先生方からご紹介頂くハイリスク症例が多いことの結果と思われます。母体搬送を出来る限りお受けしたいと思っておりますが、残念ながら、当科ベッド数(31床)および新生児センターのNICUのベッド数(12床)と、我々産婦人科のスタッフ数(現在5人=S56年)等により、充分御満足頂けないのが現状です。

### (婦人科手術概況)

昨年2006年は、婦人科手術総数314です。うちわけとしては、子宮頸癌手術15、子宮体癌手術17、附属器悪性腫瘍手術26、単純子宮全摘術74、臓上部切断術8、腹腔鏡下手術70(内附属器摘出60)臓式手術51でした。今後の見通しとしては、腹腔鏡下手術が、増加するだろうと思います。

### (その他)

不妊関係では、当科も平成9年2月に、初めて体外受精・胚移植法を実施しました。その後も、週12回の不妊外来を開設しており、生殖補助医療の分野も、医師数の少ない中、頑張っています。又、千葉県の方針に沿って、平成15年4月より、月2回(第2・第4水曜日の午後)女性専用外来を開設しております。

### (最後に)

周産期関係では、日本周産期・新生児医学会認定施設における(暫定的)専門医として、周産期専門医の育成態勢の準備中です。又、新臨床医制度の下、常時2~3名(種々の大学出身者)の臨床研修医が、2ヶ月間のローテーションで、研修しております。産婦人科への入局者の少ない厳しい状況ですが、初期研修医の内より、将来、産婦人科医となってくれる医師が、一人でも出でれば良いと期待しながら毎日の診療を続けております。

## 平成18年度第3回定例役員会議事録

日 時：平成18年11月24日（金）午後3時～5時30分

場 所：京成ホテルミラマーレ

出席者：八田賢明・河村堯・井橋力・松井英雄・大川玲子・諫訪部博・十河正寛・山口暁・  
佐野慎一・神谷直樹・吉田幸洋・河西十九三・梁善光・窪谷健各役員、吉田之好・  
渡辺義男各顧問・千本英世議長、本間誠・本田孔久・八田真理子・芳野春生・長岡貞雄・  
内藤正文・塚本光志各地区代表委員

欠席者：細田肇・鴨井青龍・清水幸子役員、林晴男・貝田豊郷監事、関谷宗英顧問  
篠原継男・吉岡英征・水谷敏郎各地区代表委員

### 1. 前回議事録の確認

#### 【協議事項】

##### 1. 会員名簿の作成について（山口）

広告を入れ名簿作成を行うこととし、次期新役員が決定後に発行する予定とした。

##### 2. 臨時総会の開催について（山口）

2月3日冬期学術研修会に合わせて開催を予定した。式次第については、学術集会担当の鴨井理事と総務担当を中心に協議することとした。

##### 3. 千葉県国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦について（十河）

担当理事を中心に入選を進めることになった

##### 4. 日本産科婦人科学会名誉会員・功労会員の推薦について（河村）

名誉会員、功労会員の規定に合致する会員の推薦をお願いした。

##### 5. 平成18年度地方部会・支部公開講座について（梁）

3月3日開催予定。「今、千葉県のお産を考える」をメインテーマとしてシンポジストを人選中

##### 6. 平成19年度日産婦医会関東ブロック社保協議会について（十河）

来年度、関ブロ社保協議会は、千葉県が主幹で開催予定。11月をめどに準備。

##### 7. 千葉地方部会のあり方委員会について（吉田他）

##### 8. 千葉県助産師会との懇談について（八田、佐野、山口）

助産師会と懇談。保育看護問題に伴う内診問題では意見の一一致が見られなかった。開業助産所の嘱託医問題については、医会本部の契約案の提出を待って対応。今後も懇談を続けることは一致。

##### 9. その他

千葉大での胞状奇胎特殊染色研究への協力。提供者への承諾書などを取りまとめて再度協議に。

#### 【報告事項】

##### 1. 千葉地方部会のあり方委員会について（9/8、10/18、11/15）吉田他

##### 2. 日産婦医会関東ブロック会支部長会について（9/10、11/5）井橋、八田

##### 3. 日産婦医会関東ブロック会周産期救急医療実態調査委員会について（9/10）山口

##### 4. 平成18年度日産婦医会関東ブロック協議会について（9/10）井橋他

##### 5. 日産婦医会支部長会について（10/1）八田

##### 6. 支部・地方部会秋季学術研修会について（10/7）梁

##### 7. 千葉県医師会母体保護法指定医師指定審査委員会について（10/12）八田他

8. 日産婦医会学術集会福島大会について（10/14-15）井橋、山口、長岡、吉田之
9. 千葉県医師会第2回保険医療研究委員会について（10/24）十河
10. 千葉県助産師会との懇談について（10/31）八田、佐野、山口
11. 第23回（H18年度）全国支部がん対策担当者連絡会の出席について（11/3）河西
12. 日産婦医会関東ブロック会社保委員会について（11/5）十河
13. 平成18年度日産婦医会関東ブロック会社保協議会について（11/5）八田他
14. 第15回（H18年度）全国支部医療安全・紛争対策担当者連絡会について（11/19）佐野
15. 「産科医療の集約化・重点化に関する都道府県の現状と今後の取り組みについて」のアンケート結果送付について 吉田
16. J S O G - J O B N E T 事業（日本産科婦人科学会ホームページ会員専用ページへの公立病院・公的病院の産婦人科医師公募情報掲載を行う事業）に関する協力依頼について 吉田
17. その他

## 平成18年度第4回定例役員会議事録

日 時：平成19年1月26日（金）午後3時から6時30分

場 所：千葉県医師会2階第1会議室

出席者：八田・河村・井橋・松井・大川・諒訪部・十河・山口・佐野・神谷・吉田・河西・鴨井・梁・窪谷・清水各役員、貝田監事、吉田・渡辺顧問、千本議長

欠 席：細田副支部長、林監事、関谷顧問

### 1. 前回議事録の確認

#### 協議事項

1. 平成18年度支部・地方部会臨時総会の実施について（山口）
  - ・議長から示された選挙の方法について議論があったが、通常の無記名投票となった。
  - ・このため、得票同数の場合、くじ引きで当選者が決定となる。
  - ・立候補者が当日不在の場合、代理のくじ引きも可とされた。
  - ・今回の選挙では、地方部会長のみ所信表明をする時間を確保することになった。
  - ・次回以降では、立候補届出の際に立候補にあたっての所信を記載してもらうこととした。
  - ・代議員が役員に立候補した場合にも選挙権は有効であることが確認された。
  - ・立候補の取り下げは、本人の文書による届出可とした。
2. 平成18年度医長懇談会の開催について（鴨井）
3. 「国際助産師の日の集い」後援名義使用と事業協力の依頼について（八田）
  - ・保助看法に対する助産師会の立場を確認してから後援および協力の可否を決することになった。
4. 平成19年度日本産婦人科医会会費免除会員について（八田）
5. 日本産婦人科医会名誉会員・特別会員候補者の推薦について（八田）
6. 平成19年度日本産科婦人科学会会費免除会員について（河村）
  - ・来年度以降、地方部会の会費免除について検討することになった
7. 日本産科婦人科学会名誉会員・特別会員の推薦について（河村）
  - ・名誉会員候補として川名尚先生を推薦し、特別会員候補に伊藤元博先生・清川尚先生を推薦した。
8. 胞状奇形免疫染色への協力依頼について（松井）
9. 次年度の事業計画・予算作成について（山口）
  - ・本年度、来年度の事業報告、事業計画は、現在の担当理事が作成したのち、次期担当理事と協議し総会に諮ることになった。
  - ・申し送りおりのため、2月また3月の理事会に次期執行部も出席していただく予定とした。
10. その他

#### 報告事項

1. 日本医師会主催家族計画・母体保護法指導者講習会の出席について（12/2）八田・井橋
2. 日産婦医会関東ブロック会広報委員会の出席について（12/9）山口
3. 支部・地方部会臨時総会打合せ会について（12/14）八田・河村
4. 支部医療安全委員会について（12/14）佐野
5. 支部周産期委員会について（12/16）清水
6. 千葉県医師会への「周産期医療体制整備のための千葉県への提言」の提出について（清水）

「周産期医療体制整備のための千葉県への提言」については、理事会での協議、報告がないまま、医師会へ提出されたことに異議が出された。これに対して、会長一任であったこと、あくまでもたたき台であることと説明された。

7. 日本産科婦人科学会代議員の選出について（河村）

- ・大学、基幹病院、一般施設、会員年数などを考慮して、会長・副会長が協議の上、決定された。次回総会で承認予定。また、予備代議員ならびに、今期の欠員代議員も決定された。
- ・次期役員会から代議員に対しても出席を求めることがなった。

8. 平成19年度日本産科婦人科学会専門医認定二次審査試験

（面接試験）担当者について（河村）

9. 次期日本産婦人科医会千葉県支部・日本産科婦人科学会千葉地方部会

地区代議員定数について（八田・河村）

10. 産科における医療資源の集約化・重点化を検討するワーキンググループの

委員への就任について（八田・河村）

11. STD調査について（大川）

12. その他

## 平成18年度第5回定例役員会議事録

日 時：平成19年2月23日（金）午後3時から5時30分

場 所：ホテルポートプラザちば（千葉市中央区千葉港8-5）

出席者：八田支部長、河村会長、井橋副支部長、大川・諫訪部・十河・吉田・河西・鴨井・梁・  
窪谷・清水各理事、吉田・渡辺各顧問、千本議長

欠席者：細田副支部長、山口・佐野・神谷各理事、林・貝田各監事、関谷顧問、長岡副議長

### 1. 前回議事録の確認

#### 協議事項

1. 関東ブロック選出日産婦医会理事候補者の推薦について（八田）
  - ・神谷直樹氏現理事（柏クリニック）に決定
2. 平成18年度事業報告（案）について（各理事）（承認）
3. 平成19年度事業計画（案）について（各理事）（承認）
4. 日本産婦人科医会総会について（八田）
  - ・八田支部長が日産婦医会会长選挙につき、参考意見として役員の発言を求めた
5. 次期日産婦学会千葉地方部会役員決定に伴う業務引継ぎに関する件（河村）
6. 平成19年度支部・地方部会合同研修会について（河村）
  - ・H19年6月21日（木）APA HOTEL&RESORT（旧幕張プリンスホテル）（承認）  
講師：講演1：東海大学 周産期母子センター所長 助教授 森 晃 先生  
講演2：筑波大学 乳腺甲状腺内分泌外科 教授 植野 映 先生
7. 日本産科婦人科学会千葉地方部会学術奨励賞について（吉田）
  - ・申請4名あり、それぞれの推薦人を除いた選考委員会で受賞者を選定する
8. 平成18年度「女性の健康週間」市民公開講座について（梁）
9. その他
  - ・日産婦医会MLから始まった、「日本のお産をよくする会」の署名活動が、ML以外の会員にも拡げてほしいという要望につき、討議。郵便で全会員に情報提供することに決定

#### 報告事項

1. 平成18年度冬期学術研修会について（2/3）鴨井
2. 平成18年度支部・地方部会臨時総会について（2/3）八田・河村
3. 産科における医療資源の集約化・重点化を検討するワーキンググループについて（2/5）  
八田・河村
4. 日産婦医会関東ブロック会幹事会について（2/17）大川
5. 日産婦医会関東ブロック会広報委員会について（2/17）山口
6. 千葉県支部・千葉地方部会性教育セミナーについて（2/22）大川
7. 次期日産婦学会代議員補欠および現日産婦学会代議員欠員に伴う補充について（河村）
  - ・欠員補充代議員：宇田川秀雄、木下俊彦
  - ・補欠代議員：1. 鴨井青龍 2. 野島美知夫 3. 鈴木康伸
8. 社保委員会委員の交代について（十河）
  - ・瀬嵐貞夫（松戸市）→田中尚武（千葉市）

## 9. 人工妊娠中絶実施報告書の記載について（山口）

## 10. その他

## 添付資料

1. 周産期医療崩壊の現状と対策（日本産婦人科医会）CD

2. 日本産婦人科医会リーフレット 「日本の産科は世界トップクラス」

なのに今！安全な分娩管理を受けられない「お産難民」が50万人？

※ 会議前に、日産婦医会会长選挙立候補予定の佐藤和雄氏が、本人要請、八田支部長判断により意志表明を行った。

※ 会議後、同ホテルにて、第22回H18年度県立・国立・公立・大学病院等産婦人科医長懇談会が開催された。

## 平成18年度第3回合同協議会議事録

日 時：平成19年3月23日（金）午後3時～5時

場 所：千葉県医師会第1会議室

千葉市中央区千葉港7-1（電話043-242-4271）

出席者：八田支部長、河村会長、松井副会長、大川・諫訪部・十河・山口・神谷・吉田・河西・鴨井・梁・清水各理事、林・貝田各監事、吉田・渡辺各顧問、千本議長

本間・本田・吉岡・八田・芳野・長岡・水谷・内藤・塚本各地区代表委員

欠 席：井橋・細田各副支部長、佐野・窪谷各理事、関谷顧問、篠原地区代表委員

### 1. 前回議事録の確認

#### 【協議事項】

1. 妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方について（八田）  
→公費負担実施場合の料金設定については、次期執行部で積算根拠を示し、行政と協議することになった。
2. 日本産婦人科医会会長・副会長・監事立候補者について（八田）
3. 平成18年度事業報告（案）について（各理事） →了承
4. 平成19年度事業計画（案）について（各理事） →了承
5. 平成19年度収支予算（案）について（諫訪部） →了承
6. 平成18年度学術奨励賞の選考について（吉田） →千葉大学、木原先生に決定
7. STD調査における対象者名簿について（大川）
8. その他 →4月に次期執行部による第一回理事会を開催予定。

#### 【報告事項】

1. 日本医師会主催家族計画母体保護法指導者講習会の出席について（12/2）八田・井橋
2. 日産婦医会関東ブロック会広報委員会の出席について（12/9, 2/17）山口
3. 支部医療安全委員会について（12/14）佐野
4. 支部周産期委員会について（12/16）清水
5. 平成18年度冬期学術研修会について（2/3）鴨井
6. 平成18年度支部・地方部会臨時総会について（2/3）八田・河村
7. 日産婦医会関東ブロック会幹事会の出席について（2/17）大川
8. 支部・地方部会性教育セミナーについて（2/22）大川
9. 平成18年度国公立・県立・大学病院等産婦人科医長懇談会について（2/23）鴨井
10. 平成18年度女性の健康週間公開講座について（3/3）梁
11. 日産婦医会関東ブロック会支部長会・役員会の出席について（3/10）八田
12. 関東連合地方部会理事会について（2/23）河村
13. 平成19年度地区代表委員・副地区代表委員について
14. 平成19年度代議員・予備代議員について
15. その他

## 「日本産科婦人科学会千葉地方部会雑誌」発刊のお知らせ

現在、千葉県内ではいくつかの研究会が定期的に開かれており、症例報告を中心に多くの演題が発表されています。しかし、適当な雑誌がないため論文にはならないことも少なくないようです。以前より、折角のすばらしい発表が埋もれてしまうのはもったいないとの声がありました。そこで今回、「日本産科婦人科学会千葉地方部会雑誌」を発刊する運びとなりました。

学術雑誌として、投稿論文は査読の上、掲載の可否を判断いたしますので、各subspecialtyにおける資格認定にも有用です。

創刊号（1巻1号）は来年早々の発行を予定いたしております。

以下に論文投稿規程を掲載いたしますので多くの皆様の投稿をお待ちいたしております。

### 論 文 投 稿 規 定

1. 本誌に投稿する者は、共著者も含め原則として本会の会員に限る。
2. 論文の種類は総説、原著、症例報告などとし、未発表のものに限る。（県内各研究会における発表をまとめた論文を特に歓迎する。地方部会学術講演会発表論文は原著として掲載する。この場合、本文の終わりに“日本産科婦人科学会千葉地方部会平成〇〇年度冬期学術講演会で発表した”のごとく記述する。）
3. 投稿の際は、原稿とともにコピー2部を添付する（なお保存メディアの添付が望ましい）。
4. 原稿は、A4版横書き（原則としてパーソナルコンピューター上のワードプロセッサーを使用。ソフトはWordが望ましい）とし、常用漢字と平仮名を使用する。学術用語は本学会および日本医学会の所定に従う。英語のつづりは米国式とする。（例：center, estrogen, gynecology）。
5. 異体字は編集委員会にて正字に修正することがある。また、体裁などにおいては本誌の統一性を保つため、あらかじめ編集委員会の方で修正することがある。
6. 原著論文の記述の順序は、原則として次のようにする。  
1ページ目に表題、所属、著者名（以上は英文も併記し、姓名はTaro YAMAKAWAのように記述する）、2ページ目以下に概要（400字以内）、Key words（3語以内）、緒言、方法（症例報告では省略可）、成績、考察、結論、文献、図、表、写真とする。ただし症例報告の場合は成績の代わりに症例とし、本文中の結論は削除する。論文中に図、表の挿入個所を欄外に明示する。概要の記述のない論文は受け付けない。また、概要には総括または結論を必ず含ませる。
7. 地方部会学術講演会や各研究会において講演を依頼した演者には、その講演内容の執筆を依頼し、その論文を掲載することがある。なおこの場合、記述は投稿規定に沿ったものとする。
8. 投稿論文を内容により次のカテゴリーに分類する。カテゴリーA；周産期（新生児、産褥も含む）、B；腫瘍、感染症、C；生殖医学、内分泌、D；女性医学、E；その他。投稿者は上記のカテゴリーの中から1つを選び、表題の前に朱書する。
9. 論文の長さは文献、図、表、写真などを含めて原則として6,000字以内（刷り上がり4頁）とする。なお、図、表、写真は1頁に6個を挿入した場合、1つが約300字に相当する。図、表、写真は、それぞれに番号を付け、縮小製版された場合にも明瞭であるように留意する。
10. 単位、記号はm, cm, mm, μ, mμ, g, mg, μg, l, ml, °C, pH, N, M, Ci, mCi, μCiなどとする。数字は算用数字を用いる。
11. 文献の引用は論文に直接関係のあるものにとどめ、本文中では引用部位の右肩に文献番号1) 2)を付け、本文の終わりに本文に現れた順に並べる。本邦の雑誌名は各雑誌名により決めら

## ◆ お知らせ ◆

れている略称を用い（略称がない場合は正式名を用いる），欧文誌はIndex Medicusによる。なお、文献は下記のように表記する。

### 例 1

【欧文雑誌】著者名、論文名、雑誌名・発刊年；卷数：頁数

＜著者が3人までの場合＞

Denning DP, Farha GJ, Mcboyle MF. Role of needle localization of nonpalpable breast lesions.  
著者名 論文名

Am J Surg 1987 ; 154 : 593-596

雑誌名 発刊年 卷数 頁数

＜著者が4人以上の場合＞

Seidman DS, Nezhat CH, Nezhat F et al. The role of laparoscopic-assisted myomectomy (LAM).  
著者名 論文名

JSLS 2001 ; 5 : 299-303

雑誌名 発刊年 卷数 頁数

### 例 2

【欧文書籍】著者名、論文名、監修（編集）者名、書名、発行地：発行元、発刊年；頁数

＜著者または編集者が3人までの場合＞

Takatsuki K, Uchiyama T, Sagawa K. Adult T-cell leukemia in Japan. In: Sano S, Takaku F,  
著者名 論文名 監修（編集）者名

Iruo S, eds. Topics in hematology. Amsterdam : Excerpta Medica, 1977 ; 73-77  
著者名 書名 発行地 発行元 発刊年 頁数

＜著者または編集者が4人以上の場合＞

Lodish H, Berk A, Zipursky SL et al. Gene control in development. In: Lodish H, Berk A, Zipursky  
著者名 論文名 監修（編集）者名

L eds. Molecular cell biology. New York : W.H. Freeman and Company, 2000 ; 537-577  
著者名 書名 発行地 発行元 発刊年 頁数

### 例 3

【和文雑誌】著者名、論文名、雑誌名 発刊年；卷数：頁数

＜著者が3人までの場合＞

水野嘉朗, 中川俊介, 今西由紀夫. 子宮全摘術後4年を経過して腫から的小腸脱をきたした1例.  
著者名 論文名

日産婦東京会誌 2001 ; 50 : 480-482

雑誌名 発刊年 卷数 頁数

＜著者が4人以上の場合＞

菊地盤, 武内裕之, 木下勝之ほか. 卵胞液中の必須元素の測定. 日本不妊学会雑誌 2002 ; 47 : 131-137  
著者名 論文名 雜誌名 発刊年 卷数 頁数

### 例 4

【和文書籍】[著者名、論文名、] 監修（編集）者名、[シリーズ名、] 書名、[版数、] 発行地：発行元、発刊年；頁数 ※[ ]は該当する時のみ表記する。

＜著者または監修・編集者が3人までの場合＞

藤井信吾. 平滑筋腫瘍の組織像の多様性と悪性度の判定. 森脇昭介, 杉森甫編.  
著者名 論文名 監修（編集）者

取り扱い規約に沿った腫瘍鑑別診断アトラス 子宮体部 東京：文光堂、1993；71-77  
 シリーズ名 書名 発行地 発行元 発刊年 頁数

<著者または監修・編集者が4人以上の場合>

齋藤英和、中原健次、齋藤隆和ほか、卵巣閉鎖とアボトーシス

著者名 論文名

武谷雄二、青野敏博、麻生武志ほか編、新女性学体系 排卵と月経 東京：中山書店、1998；218-227  
 監修(編集)者 シリーズ名 書名 発行地 発行元 発刊年 頁数

12. 論文の採否は、査読を経て編集委員会で決定する。査読者は編集委員会が委嘱する。
13. 印刷の初校は著者が行う。ただし、組版面積に影響を与えるような極端な改変や組み替えは認められない。
14. 原稿ならびに保存メディアは原則として返却しない。
15. 論文の掲載のための組版代は著者負担とする。また、カラー写真の掲載は別途著者負担とする。
16. 別刷の実費は著者負担とする。希望別刷数はあらかじめ原稿に朱書きしておく。
17. 原稿には、責任者、連絡先を明記し、変更のあった場合には必ず編集委員会に連絡する。
18. 投稿の宛先は以下とする。投稿は簡易書留にて行う。
19. 投稿論文の著作権は日本産科婦人科学会千葉地方部会に委譲するものとする。投稿時に別紙誓約書ならびに著作権委譲書に署名の上、提出すること。
20. 投稿にあたり、ヘルシンキ条約および個人に関する情報の取り扱いにあたっては個人情報保護法を遵守すること。とくに症例報告においては患者のプライバシー保護の面から個人が特定されないよう、氏名、ID、生年月日はもとより手術の月日などを明記せずに臨床経過がわかるよう記述して投稿するものとする。

日本産科婦人科学会千葉地方部会 編集委員会

272-8513 千葉県市川市菅野5-11-13  
 東京歯科大学市川総合病院産婦人科内  
 TEL 047-322-0151 FAX 047-322-7931

#### 【投稿先】

日本産科婦人科学会千葉地方部会 編集担当  
 102-0083 東京都千代田区麹町4-2-6 第2泉商事ビル  
 (株) MAコンベンションコンサルティング内  
 TEL 03-5275-1191 FAX 03-5275-1192  
 EMAIL info@macc.jp

(平成19年6月29日制定)

# 会員の訃報・入退会・異動（変更）状況

【訃 報】謹んでお悔やみ申し上げます。

&lt;敬称略&gt;

船 橋	中 村 猪三郎	平成18年12月27日 ご逝去
流 山	遠 藤 勝 男	平成19年1月12日 ご逝去
印 肇	林 上 道	平成19年2月10日 ご逝去
市 原	三 橋 金次郎	平成19年3月26日 ご逝去

【入 会（転入）】

地区	氏 名	医 療 機 閣 名	届出月
市 川	高 橋 香 織	東京歯科大市川総合病院(東京より)	11月
八 千 代	坂 井 昌 人	東京女子医大八千代医療センター(東京より)	H19年1月
安 房	吉 川 和 美	亀田総合病院(宮城より)	1月
市 川	福 永 朝 子	東京歯科大市川総合病院	3月
浦 安	田 口 雄 史	順天堂大学浦安病院(東京より)	3月
千 葉	椎 名 香 織	宇田川産婦人科医院(神奈川より)	3月
船 橋	国 府 田 きよ子	Kレディスクリニック(東京より)	4月
市 川	菅 原 か な	東京歯科大市川総合病院(東京より)	4月
成 田	佐 久 間 有 加	成田赤十字病院(静岡より)	4月
市 原	松 本 由 佳	帝京大学ちば医療センター(東京より)	4月
市 川	佐 藤 健 二	東京歯科大市川総合病院(栃木より)	4月
千 葉	石 山 巧	峯田マタニティクリニック(東京より)	4月
市 川	小 川 真 里 子	東京歯科大市川総合病院(東京より)	4月
安 房	草 西 洋	亀田総合病院(兵庫より)	4月
柏	小 林 久 晃	下総航空衛生隊	5月
松 戸	舞 床 和 洋	オーククリニックフォーミズ(東京より)	5月
浦 安	今 野 秀 洋	順天堂大学浦安病院	5月
浦 安	菅 直 子	順天堂大学浦安病院	5月
浦 安	矢 田 昌 太 郎	順天堂大学浦安病院	5月
浦 安	山 本 恵理子	順天堂大学浦安病院	5月
印 肇	山 地 亜 季	成田赤十字病院	5月
千 葉	長 田 久 夫	千葉大学医学部周産期母性科	5月
旭	高 橋 慎 治	国保旭中央病院(茨城より)	6月
安 房	林 宜 嬪	亀田総合病院	6月

【退 会（転出）】

地区	氏 名	医 療 機 閣 名	届出月
市 川	富 永 英一郎	東京歯科大市川総合病院(東京へ)	11月
市 川	杉 山 重 里	東京歯科大市川総合病院(東京へ)	11月
香 取	根 本 千 秋	積善堂医院(高齢にて退会)	H19年1月

市 原	杉 浦 聰	いたはし産婦人科（東京へ）	1月
市 川	下 川 理 世	東京歯科大市川総合病院（東京へ）	2月
市 川	河 原 よし子	河原医院（退会）	2月
松 戸	藤 井 英 雄	藤井医院（退会）	2月
富 津	伊 東 義 人	伊東医院（退会）	2月
銚 子	横 田 知 夫	銚子市立総合病院（茨城へ）	3月
市 川	古 川 金次郎	古川産婦人科医院（高齢にて退会）	3月
千 葉	鈴 木 通 也	退会	3月
船 橋	本 山 芳 治	山口病院（退会）	3月
安 房	木 島 一 洋	勝山医院（埼玉へ）	6月
流 山	鈴 木 正 雄	すずき内科クリニック（医会退会）	6月
八千代	野 田 正 和	前田産婦人科（東京へ）	6月
市 川	高 橋 香 織	東京歯科大市川総合病院（東京へ）	6月
印 脇	五十嵐 美 和	日本医大千葉北総病院（東京へ）	6月
旭	小 林 織 恵	国保旭中央病院（東京へ）	6月
千 葉	官 川 統	官川産婦人科医院（退会）	6月
千 葉	官 川 知 子	官川産婦人科医院（退会）	6月
千 葉	藤 田 真 紀	千葉大学病院（東京へ）	6月
茂 原	清 水 三 郎	育生医院（学会退会）	6月
市 川	谷 垣 伸 治	東京歯科大市川総合病院（東京へ）	7月

## [異動(変更)]

地 区	氏 名	医 療 機 関 名	届出月
千葉→船橋	金 予 義 晴	花輪クリニックへ	1月
船橋→市川	朴 正 順	わたなべ医院へ	1月
船橋→市川	萩 原 憲 治	わたなべ医院へ	1月
千葉→千葉大	加 来 博 志	千葉大学病院周産期母性科	3月
千葉→匝瑳	増 田 健太郎	増田産婦人科	4月
印 脇→市原	丸 宏 昭	いたはし産婦人科	4月
山武→君津	小 林 治	君津中央病院	4月
松戸→千葉	清 水 久美子	稻毛バースクリニック	4月
千葉→松戸	久保田 浩 一	オーククリニックフォーミズ	5月
松戸→君津	山 本 憲 子	君津中央病院	5月
山武→印 脇	柴 田 眓 三	聖隸佐倉市民病院	5月
安房→八千代	藤 原 礼	東京女子医大八千代医療センター	5月
改姓	柳 沼 由 紀	亀田総合病院（旧姓 山本）	5月
松戸→千葉	中 村 裕 美	千葉大学医学部附属病院	6月
改姓	森 忍	亀田総合病院（旧姓 高野）	6月
君津→千葉	岡 本 香 織	国立病院機構千葉医療センター	6月
印 脇→松戸	山 地 沙 知	松戸市立病院	6月

## 編集後記

千葉県産科婦人科医会報第65号をお届けいたします。4月より医会千葉県支部・学会地方部会ともに役員が交代となった関係で発刊が遅れましたことをまずお詫び申し上げます。本号では新しく役職に就任された先生方の原稿を中心に構成いたしました。新広報委員会ではこの医会報の発行とともに、ホームページの充実による情報伝達の促進も図っていきたいと考えております。医会報およびホームページの内容に関して皆様のご意見をお寄せいただければ幸いです。

さて昨今の医療を取り巻く環境は改めて言うまでもなくますます厳しいものがあります。「医は仁術なり」という言葉がありますが、患者さんは医者に赤ひげのイメージを求め、さらには医療に確実性を求めています。「医療崩壊」という名著(?)を出された虎ノ門病院の小松先生の近刊に「医療の限界」という新書がありますが、その中でも医療者と患者の診療行為に対する認識の差について述べられており、なるほどと納得することしきりでした。朝日メディカル6月号に「お産の危機」と題した特集がありましたが、その中で紹介されている産婦人科などの医師不足への対応に関するアンケートでも、医師は一番に報酬を上げることがよいとしていました(42.7%)が、一般市民では強制的に医師を配置するが一番でした(35.3%)。この意識のギャップを埋めないと、今のドライな若い医師たちは産婦人科という選択肢を早い時期に捨ててしまうと思います。医会・学会の今後の活動に期待したいところです。

(K. T)

### 千葉県産科婦人科医会報（第65号）

平成19年7月25日 印刷

平成19年7月30日 発行

発行者 日産婦医会千葉県支部  
日産婦学会千葉地方部会

〒260-0026  
千葉市中央区千葉港7-1  
千葉県医師会内

T E L. 043(242)4271(代)  
F A X. 043(246)3142

編集者 広報担当理事 高松 潔  
広報委員会 岩崎 秀昭・坂井 昌人  
山口 啓・吉岡 英征  
野島美知夫・宇田川秀雄  
河村 堯・高松 潔  
鴨井 青龍

印 刷 三陽工業株式会社